



芦高Times

第20号
発行／県立芦屋高等学校
芦屋市宮川町6番3号

2017
2月号

AUSS: Ashiya Upper Secondary School

震災追悼行事 —1.17を忘れない—



平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災で本校の在校生3名、卒業生31名が亡くなられた。毎年、この日には追悼行事を実施している。今年は生徒は各ホームルーム教室に待機。校内放送で追悼式を行った。まず、自治会副会長から震災の概要の説明、代表の生徒による追悼のことば、代表生徒による慰霊碑への献花、黙祷の後、岡田校長の話があった。校長からは「震くなられた在校生の告別式で読まれた弔辞を紹介。『震災を忘れることなく、後世に伝えて欲しい』と話を結んだ。最後に自治会長、酒匂悠太君は『熊本地震復興への取り組みを通し、全国の皆さんに感謝の気持ちを伝えていきたい』と訴えた。

3学期制に、変わります！

県立芦屋高校は、10年前の単位制への改編に伴い2学期制(前期・後期制)となっていました。平成29年度から、単位制の良さを生かした3学期制に移行します。

•どこが変わるの？

1学期4～7月、2学期8～12月、3学期1月～3月
定期考査や記念祭・体育祭などの行事日程はほとんど変わりません。

•ここがメリット！

通知表が年3回渡されます。長期休業を前に評価を受けて、補習計画や学習計画について細かく指導を受けることができます。

単位制の良さである「高大連携講座」などの半期の選択科目は継続します。



進路実現へ向けて —1・2年次進路別説明会—



1月26日(木)7限に2年次対象、2月2日(木)7限に1年次対象の進路別説明会が行われた。1・2年次とも大学、専門学校、就職公務員等のコースに分かれ、それぞれ専門の講師から具体的な学習方法について説明があった。

2年次生には、今の2月、3月が3年次のゼロ学期と捉え、早期の進路実現へ向けた対策をとる必要性を訴えた。1年次生には「2年次生の学習の大切さ」を話し、年々複雑になる大学入試等に対する取り組み、日々の学習活動の大切さについての説明があった。

「ひさかたの～」 恒例のカルタ大会

1月26日(木)1年次の百人一首大会が体育館で行われた。この大会はクラス内での予選結果をもとに実力が同等になるように計40チームに分かれて実施。生徒たちはそれぞれのグループでの頂点を競い合った。太鼓の「ドン!」という音に合わせて年次の先生方が交互に歌を詠み、生徒が競い合

ってカルタを取りあっていた。

最初は、お互いに遠慮がちであったが、歌を詠み進めるにつれて徐々にヒートアップ、「ハイッ」といって元気よくカルタを取る姿が見られた。



部活紹介

卓球部



卓球部は、2年次生7名、1年次生6名の13名で活動しています。私たちは、昨年出場した県総体の団体戦でベスト16まで勝ち上がり、ベスト8決定戦では敗退したものの、9位決定戦の2回戦まで勝ち上がり、第10位に入りました。学校で出る大会だけではなく、一般のOP戦などにも積極的に出場し経験を積んでいます。



私たちの現在の目標は、県総体に出場して先輩達の届かなかったベスト8に入ることです。私たちと一緒に目標を果たしてくれる新入生の入部を心待ちにしています。

ダブルダッチ同好会



こんにちは。ダブルダッチ同好会です。ダブルダッチとは、2本のロープを使って跳ぶなわとびです。手軽に誰にでもできて、集中力、持久力、リズム感、創造力、バランス、そしてチームワークが自然に身につく楽しいスポーツです。文化祭の舞台で、美しくカッコいい演技をすることを目標に、週2回の練習に励んでいます。今年の舞台も、仲間と共にがんばります!ぜひ見にいらしてください!



インターハイ優勝! 三原舞依(2年次)

平成29年度1月20日～23日栃木県宇都宮スケートセンターにて行われた、平成28年度全国高等学校総合体育大会、第66回全国高等学校スケート競技選手権大会 フィギュアスケートで見事、初出場初優勝を飾った。

予選のショートプログラムは、坂本選手(神戸野田高)がトップに立ったが、三原は決勝のフリープログラムで持ち前の強い精神力を発揮。ノーミスで高得点を出し、逆転で優勝。3月の世界選手権(ヘルシンキ)にも出場します。ご声援願います。



主な行事

3月1日(水)～3日(金) 年次末考査
3日(金) カウンセリング
6日(月) クリーンアップ作戦
9日(木) 防災訓練
12日(日) 一般入試
16日(木) 球技大会
17日(金) 球技大会
19日(日) 合格者発表
21日(火) 進路ナビ(2年次)、合格者説明会
23日(木) 終業式

